

平成 30 年度 第 4 回向こう三軒両隣り防災懇談会 議事録

開催日時：平成 30 年 10 月 21 日(日) 16 時 00 分～19 時 15 分

場所：高尾台町会 会館 1 階

出席者：計 41 名

記録者：勝裕

出席者：別表参照

司会進行：知るチーム 清水 IDPT メンバー

議事録内容

第一部【勉強会】

1、開会挨拶 橋場健次 IDPT メンバー

防災に関する心構えをまずは持っていただきたい、そして向こう三軒両隣のコミュニティーを構築したい、皆様、よろしくお願いします。

2、本日の出席者について

各班長、各役員、IDPT メンバーの他に、今回は民生委員の方々にもお越しいただいた。

3、この懇談会の目的

防災アンケート結果の共有、具体的な安全・安心なまちづくりの仕組みを皆様と考えたい

4、防災アンケート結果「概略」説明 (IDPT 知るチーム 清水義博氏)

- ・台風 21 号の発生時の避難所の状況報告
- ・いざ、非難勧告が出てもなかなか一人では行動できない
- ・平常時の防災活動が無いと非常時に生かせない
- ・PDCA サイクルを、繰り返し防災力を高めていきたい→IDPT 組織の結成
- ・森本・富樫断層について
- ・防災アンケート調査結果 (2018.6.11～6.30 実施) 班単位で差が大きい、下記は町会平均値
家具転倒防止実施率…35% 最小 13%最大 56% (目標 80%を大きく下回っており対策必要)
火災報知機設置率 …81% 最小 61%最大 100% (目標 80%以上)
65 歳以上の人口 …23% 最小 2%最大 57% (=高齢化率 金沢市平均 25%)
調査協力度 …回収率 71% 最小 43% 最大 100% (=防災意識→目標 80%以上)
各調査結果は配布資料 (参照)

5、防災アンケート結果「防災マップ」説明 (IDPT つくるチーム 谷内完予氏)

- ・アンケートで聞き取りした「災害リスク又は危険箇所」について列記したので確認して欲しい
- ・マップにもその危険箇所等は記してある
- ・マップには富樫活断層、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域が記しある

- ・このマップはアンケート結果を元に仕上げたもの
- ・情報として知る（共有）ことが先ずできること、次に「どうするか」を考えていく

6、各班別世帯情報について A3 ヨコ用紙

各班長は班長ファイルに保管すること

7、「安心・安全なまちづくり」について（IDPT つくるチーム 永山順一氏）

- ・高尾台自主防災会の経緯について 2014 年 防災組織作りをスタート
- ・2018 年（平成 30 年） 「知る」「つくる」「伝える」活動を実行中
- ・防災意識を高めなければ「備え」を充実させることは出来ない
- ・活動を町会の隅々まで浸透させることが目的
- ・「班」が主体となり活動を展開
- ・PDCA サイクルに基づいた「知る」「つくる」「伝える」チームの役割について

8、ここで民生委員の方へ質問

- ①「日頃の民生委員の活動の様子、自然災害などいざというときにはどういう仕組みで活動されるのか？」

テーブル 1 民生委員

『65 歳以上の一人暮らし、二人暮らしの方の情報を把握している。公民館からの緊急連絡網で動いている。まずは自分の安全を確保した上で、電話、もしくは出向いて安否確認をしている。民生委員のやらなければならない仕事も増えてきている。』

テーブル 3 民生委員

『先日の台風の際は、一人二人暮らしの方の自宅へは電話をかけた。電話が繋がらない方は、伏見台小学校の避難所に出かけていた。非難の際は民生委員がその方を助けることは難しい、やはりご近所の方がいち早く動いて助けることが望ましい。』

テーブル 2 民生委員

『毎月一人暮らしの方の家へ 3 回/月回っている、台風の時も回った。一人暮らしの方でも元気な方が多い、各家庭を回っているだけで精一杯の現状。』

→ 民生委員の方と協力して行える、町会活動や IDPT 活動もあるのではないかな

- ②「家具の転倒防止のお手伝いを IDPT メンバーと民生委員の皆さんと協力して実施できないものか？

人間関係を構築されている民生委員の方と一緒にと思うが…必要性も含めご意見を頂きたい」

テーブル 1 民生委員

『まずは一人暮らしの方は知らない人へは警戒心があるだろう、月に 1 回民生委員の定例会があるので意見として提案することは出来る。65 歳以上の方は非常に大勢いらっしゃる、お元気な方も驚くほど多い。』

テーブル 3 IDPT メンバー

『民生委員が世帯を訪問する際に、IDPT メンバーも同行し、ペアでご説明すればいいのでは？』

テーブル3 民生委員

『家具転倒防止対策の費用面の問題あり、民生委員の仕事も多岐にわたっている、そういうところは気になるところ』

→ 費用について

防災費用として町会の予算はあり、費用支出についてこれから検討する。

高尾台町会の予算規模からすると対応できるのではないかな。

テーブル3 民生委員

『費用が町会から出るのであれば前向きに進めていけばよいと思う。現実化に向けて考えてみてはどうか』

テーブル2 IDPTメンバー

「要配慮者の情報について、班単位でも把握してほしい。防災の観点からするとその情報が重要」

第二部【懇談会】

9、挨拶、乾杯 山原伸二 IDPT メンバー

10、各テーブル意見交換

防災について

11、各テーブル意見発表

○Table1 発表者：1丁目3班 班長

- ・家具転倒防止は民生委員に協力依頼するのは難しいのでは、班長が町会費集めの際に、対象のお宅にだけ、チラシでお知らせすることから始めてはどうか
- ・各班に「防災」というグループを結成してはどうか
- ・町会費を払っていない方へはどう対応すればよいかも課題
- ・向こう三軒両隣り運動として、「あいさつ」運動を皆で意識していこう

○Table2 発表者：2丁目1-1班 班長

- ・同じ班でお亡くなりになった方がおられても気づかないような希薄な関係にならないようにしたい
- ・町会会館を避難所として開設した際はショートメールでお知らせがあってもいいのでは
- ・非難した方は、自宅玄関に「避難済」目印があればいい 無事を知らせ玄関にぶら下げるなど…

○Table3 発表者：IDPT メンバー

- ・除雪対応が災害対策の訓練としていいきっかけになった、日頃話さない方と話せた
- ・家具転倒防止策は、家具の種類や、天井の形状等あるので専門家の意見も聞きたい
- ・町会の予算とする場合は「先着〇名」、補助率を設ける、補助上限学等の仕組みが合っても良い
- ・高尾台町会は幅広い世代が住んでいるので、SNS を使用しての情報の伝達も必要
- ・台風の避難場所は伏見台小学校だけだったが、町民としては高尾台中学校も避難所だと思った
- ・高尾台会館もあけていたようだが、周知が図れていなかった→周知の仕組みが欠如
- ・援助が必要な方が、誰にお願いすればいいのかわかるような付き合いが大切

○Table4 発表者：3丁目2-3班 班長

- ・アンケート回収率が100パーセントの班もある、日頃のコミュニケーションが成り立っている証拠
- ・同じ班に外国の方もいる、いまでは挨拶を交わせる仲になっている
- ・除雪について 自分の家の前を先ず除雪、その次に向こう三軒の範囲の協力を
- ・要配慮者とは公的介護を受けている方だけではない、日頃の付き合いから関係性を築いていく
- ・班単位で定例会のようなものが出来ればいい

○坂本 IDPT メンバー

事前に意向の確認をとることが大切 → 災害時にどうしてほしいのかを
物事をもう少し簡単にとらえ、考えていこう
挨拶は大切、気持ちを込めた挨拶を
大きな除雪機について・・・

12、閉会の挨拶 片岡町会長より

前回の懇談会よりも活発な意見交換が出来たようです。様々な提案について「とりあえずやってみよう」と前向きに物事をとらえていきましょう。来年度は実行できることがあると思うが、今の班長さんもいろいろな形で防災に関わっていただきたいと思います。

最後に全員で後片付けし終了

以 上

第4回 向こう三軒両隣り 防災懇談会

平成30年(2018年)10月21日(日)

勉強会:16時00分～17時20分
懇談会:17時30分～19時15分

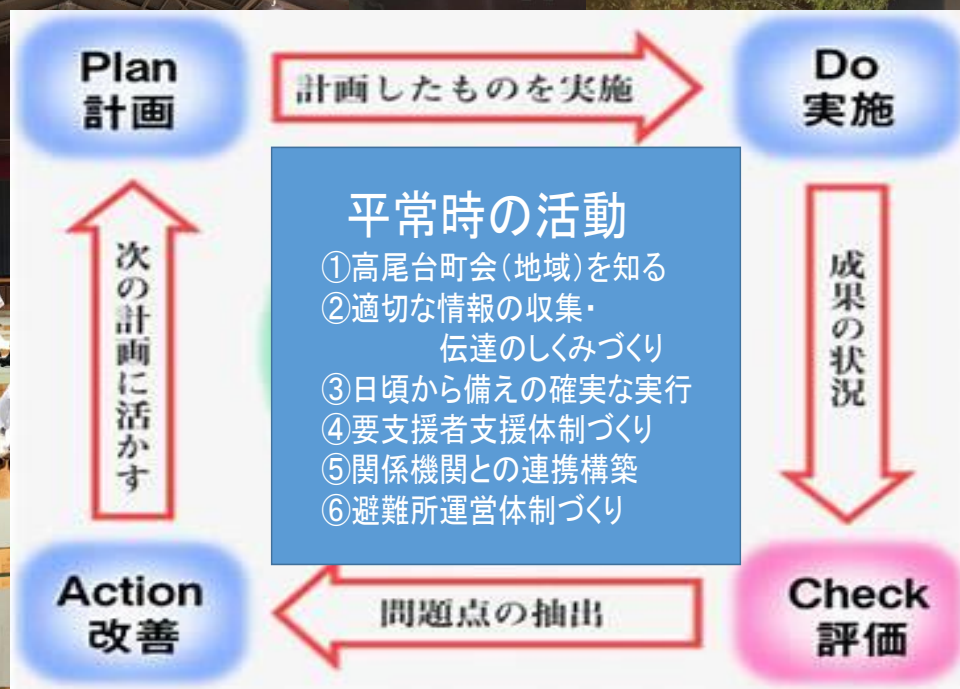
「第4回向う三軒両隣防災懇談会」の目的

防災アンケートの結果を共有し、
町会内の危険箇所、十分とは言えない家庭の備え、
要支援者の存在を知り、
具体的な安全・安心なまちづくりのしくみを
班長の皆さま、民生委員の皆さま、町会副会長・役員の
皆さまと考えます

第4回向う三軒進行次第

- 15時30分～ 受付開始
- 16時00分～16時03分 開会挨拶(IDPT 伝えるチーム 橋場健次氏)
- 16時03分～16時08分 参加者の紹介と流れの説明(司会者)
- 16時08分～16時20分 防災アンケート結果「概略」説明 (IDPT 知るチーム 清水義博)パワー・ポイント使用
- 16時20分～16時40分 防災アンケート結果「防災マップ」説明 IDPT つくるチーム 谷内完予氏
- 16時40分～17時20分 「安全・安心なまちづくり」提案&意見交換
説明&進行役: IDPT つくるチーム 永山順一氏
- 17時20分～17時30分 懇談会準備(Tableセット・飲み物コーナー・コップ・弁当等配布)
- 17時30分～17時33分 挨拶&乾杯 IDPT 伝えるチーム 山原伸二氏 懇談(90分)
基本単位の班の適正規模? 要支援者への支援は近所が? 情報を得るしくみづくり?
防災と民生委員の連携? 家具固定等のしくみづくり?
- 18時45分～19時10分 各Table発表(発表3分+質疑2分)
- 19時10分～19時15分 総括並びに閉会挨拶 防災会会長 片岡重人氏
- 19時15分～19時30分 全員で後片付け・ゴミは分担して持ち帰り

平常時の活動を非常時に活かす



防災アンケート調査(実施期間:2018年6月11日~6月30日)

- ①家屋耐震性不安 昭和56年以前の建築4軒
- ②家具転倒防止 実施率35%
- ③火災報知器 設置率81%
- ④調査協力度 回収率71%
- ⑤65歳以上の人口 高齢化23%(2%~57%)
- ⑥防災士 1丁目2名・2丁目0名・3丁目5名
- ⑦IDPTメンバー 1丁目8名・2丁目7名・3丁目11名

Earth